

「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等(平成27年1月分)について

(1) 問い合わせ件数

平成27年1月5日～平成27年1月30日 56 件
(うち、放射性物質関連 0 件)

(2) 内訳

項目	件数	主な内容
① 食品安全委員会関係	5 件	
委員会	0 件	
リスクコミュニケーション	5 件	HP リンク依頼(2 件)、DVD利用(1 件)、 季刊誌送付(1 件)、食の安全ダイヤル(1 件)
基本法	0 件	
② 食品健康影響評価関係	6 件	
評価全般	0 件	
化学物質系	4 件	ビスフェノールA(1 件)、農薬(1 件)、DAG(1 件)、 ヒスタミン(1 件)
生物系	0 件	
新食品	2 件	遺伝子組換え食品(2 件)
プリオン	0 件	
その他	0 件	
③ 食品一般(リスク管理等)関係	45 件	
化学物質系	6 件	食品添加物(4 件)、農薬(1 件)、器具・容器包装(1 件)
生物系	1 件	エボラ出血熱(1 件)
新食品	1 件	健康食品(1 件)
プリオン	0 件	
衛生関係	27 件	衛生管理(9 件)、食中毒(5 件)、異物混入(5 件)、 輸入食品(4 件)、安全性(3 件)、品質(1 件)
食品表示関係	8 件	期限表示(2 件)、栄養成分表示(2 件)、 偽装表示(1 件)、食品表示法(1 件)他
その他	2 件	食品自給率(1 件)他
④ その他	0 件	

(参考) 問い合わせ件数推移

H26 年												H27 年
1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月
89	72	54	62	55	54	89	49	65	59	56	52	56

(3) 主な質問とその回答

○食品健康影響評価関係

【ビスフェノールA】

・現在妊娠中であるが、週に数回缶詰を使って料理している。缶詰に含まれるビスフェノールAという化学物質が胎児に悪影響があるかもしれないと聞き、心配している。

⇒ビスフェノールAは、缶詰やポリカーボネート製の食器等に含まれている。日本では、ビスフェノールAの溶出基準(2.5 μ g/ml以下)が設けられており、この基準は人に影響がないとされる耐容一日摂取量0.05mg/kg体重/日を超えないよう設定されている。

またビスフェノールAは、低用量の摂取で胎児や乳幼児が影響を受ける可能性があるとして、厚生労働省からの評価要請を受け、当委員会で評価中であるが、未だ結論には至っていない。しかし現在のところ、ヒトの胎児などに悪影響があるなどの直接的な証拠はない。週に数回の缶詰の使用であれば問題ないと思われ、バランスのよい食生活を心がけていただきたい。

なお、当委員会や厚生労働省のHPに妊婦の方々への食事についての情報があるので、そちらもご覧いただきたい。

【遺伝子組換え食品】

・食品安全委員会の遺伝子組換え食品の安全性評価について、どのように行われているのか知りたい。

⇒当委員会が行う遺伝子組換え食品の健康影響評価は、①挿入遺伝子の安全性、②挿入遺伝子により産生されるたんぱく質の有害性、③アレルギー誘発性、④遺伝子組換えを行うことにより有害な物質を産生しないこと、といった重大な変化をもたらす可能性がない事などを確認する。

このように、遺伝子組換えを行う前後の食品において、変化した成分等が危害要因となる可能性はないか、比較しながら安全性を評価する。

遺伝子組換え食品の情報も当委員会のHPに掲載しているので、参考にさせていただきたい。

○リスク管理関係

【健康食品】

・70代の家族が、家庭の食事で魚を食べる事が多く、加えて、DHAとEPAが入ったサプリメントも摂っている。サプリは続けたいが、過剰摂取にならないか不安なので、摂取量の目安を教えてください。

⇒当委員会は評価機関であり、DHAやEPAに関する健康影響評価は行っていないが、国立健康・栄養研究所の健康食品安全情報によると、魚油の過剰摂取でげっぷ、吐き気、鼻血、軟便などの症状が報告されている。食事からの摂取は長い食経験があり、特に心配することはないが、サプリメントで摂取すると、過剰摂取に繋がる恐れがあるので、注意が必要である。

厚生労働省の食事摂取基準によると、DHA・EPA等n-3系脂肪酸の摂取基準目安量は70歳以上で1.9~2.2g/日であり、また他の世代では、30~49歳で1.6~2.1g/日、50~69歳で2.0~2.4g/日となっている。厚生労働省のHPも参考にさせていただきたい。